



VANQUISH

440/540

VANQUISH 440/540 取扱説明書

POWERED BY **Multi-IQ**
Simultaneous Multi-Frequency Technology



MINELAB

目次

| | | | |
|-----------------------|----|---------------------|----|
| クイックスタート | 3 | ターゲットID | 12 |
| 探査モード | 3 | ターゲットID番号 | 12 |
| コイン | 3 | 識別セグメント | 12 |
| ジュエリー | 3 | 承認/排除 | 12 |
| レリック | 3 | 検出されたターゲットの排除 | 12 |
| カスタム | 3 | 識別パターン | 13 |
| 操作部 | 4 | 識別パターンの編集 | 13 |
| ディスプレイ | 5 | カスタム探査モードの保存 | 13 |
| 探知機の設定 | 6 | 全金属 | 14 |
| 音量 | 6 | 全金属の有効化 | 14 |
| バックライト | 6 | 全金属モードを使用したターゲットの検査 | 14 |
| 感度 | 7 | 独自の識別パターンの作成 | 14 |
| 感度の調整 | 7 | ターゲットトーン | 14 |
| ノイズが出過ぎる場合 | 7 | バッテリーおよび充電 | 15 |
| 鉄バイアス | 7 | バッテリー残量 | 15 |
| 鉄バイアスを低に設定する方法(540のみ) | 7 | バッテリー電圧の不足時 | 15 |
| | | 自動シャットダウン | 15 |
| | | バッテリー動作/充電時間 | 15 |
| | | 充電式バッテリー | 15 |
| ピンポイント探知 | 8 | 探知機のお手入れと安全性 | 16 |
| ピンポイント探知のビジュアル表示 | 8 | エラーコード | 17 |
| ピンポイント探知によるターゲットの探査 | 8 | トラブルシューティング | 18 |
| ターゲットの手動探査 | 9 | 技術仕様 | 19 |
| 深度ゲージ | 10 | 工場出荷時設定へのリセット | 20 |
| 無線オーディオ(540のみ) | 11 | | |
| Bluetoothのオン/オフ | 11 | | |
| ML 80ワイヤレスヘッドホン | 11 | | |



このマークの使用は、Creative Commons Attribution NonCommercial NoDerivatives 4.0 International (CC BY NC ND 4.0)の国際ライセンスに基づいています。



本ライセンスのコピーを表示するには、以下のサイトにアクセスしてください。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

クイックスタート

1 起動する

2 5秒待つ

3 探知する

探査モード



探査モードボタンを押して次の探査モードを選択します。

VANQUISH 440/540 には、それぞれ固有の識別パターンを有する4つの探査モードが用意されています。適切な探査モードを選択することにより、お探しのものをより多く検知できるようになります。



コイン

公園やビーチのがらくた類を無視しながら、世界中の一般的な近代硬貨を探し出します。

コインモードはターゲットの判別能力に優れているため、ゴミの多い場所での探査にお勧めです。これにより、鉄ゴミのすぐ隣に埋まっているターゲットも見逃しません。

このモードの識別パターンではすべての鉄製ターゲットが排除され、金属の薄片といった鉄以外の小さなゴミも除外されます。



ジュエリー

失くした場所がどこであっても、貴重な宝飾品を取り戻します。

ジュエリーモードはターゲットの判別能力と探知深度に優れているため、万能型のモードです。

本モードはあらゆる形状、サイズ、金属組成の宝飾品を探し出す場合に最適です。

本モードの識別パターンでは、鉄製のターゲットのみが除外されます。



レリック

野原や森林の地中深くにある、時間とともに忘れ去られた遺物の場所を探し当てます。

レリックモードは、ターゲットの判別能力はやや劣るものの、全モードの中で探知深度が最も優れています。このため、極めて深くまで探知して、長らく行方不明であった貴重品類を発見することができます。

このモードのデフォルトの識別パターンではすべての鉄製ターゲットが排除され、金属の薄片といった鉄以外の小さなゴミも除外されます。



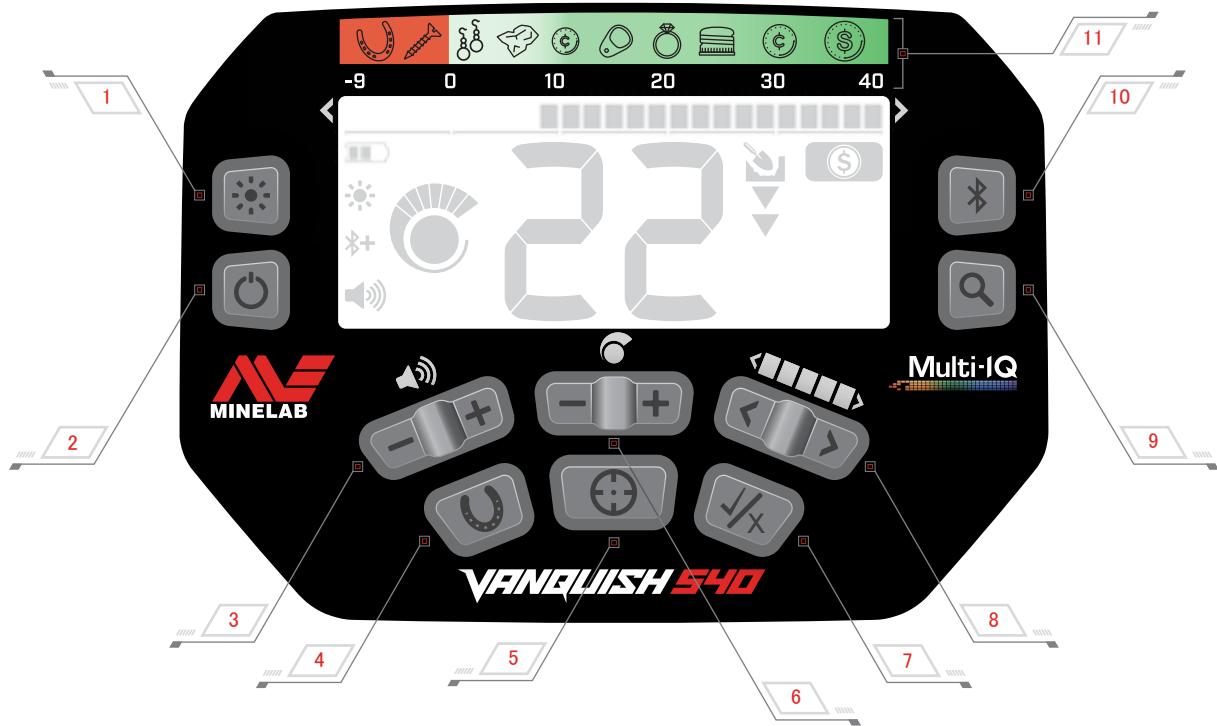
カスタム

カスタマイズできるユーザーモードです。

このモードはお気に入りの探査モードや独自の識別パターンを保存するために使用できます。このモードでは、識別パターンを調整した後に探知機の電源をオフにしても、変更を保持することができます。操作方法については、「カスタム探査モードの保存」(13ページ)を参照してください。

デフォルトの識別パターンではすべての鉄製ターゲットが排除され、金属の薄片、缶のプルタブ、瓶の王冠といった鉄以外のゴミも幅広く除外されます。

操作部



1. バックライトオン/オフ(540のみ)

バックライトの電源をオン/オフにします(6ページ)。

2. 電源オン/オフ

探知機の電源をオン/オフにします。

オフの状態で長押し(7秒)すると、工場出荷時設定を復元します(20ページ)。

3. 音量調整

音量を調整します(6ページ)。

4. 全金属

鉄を含めたすべての金属製ターゲットが検出される全金属モードの識別パターンをオン/オフにします(14ページ)。

鉄バイアス(540のみ)を切り替える場合は長押しします(7ページ)。

5. ピンポイント探知

回収前のターゲットの正確な位置を特定する場合に、長押ししてピンポイント探知機能を有効にします(8ページ)。

6. 感度

感度を調整します(7ページ)。

7. 承認/排除

それぞれの識別セグメントをオン/オフにすることにより、ターゲットを承認または排除します(12ページ)。

8. 識別パターンの編集

識別パターンを編集する際に、左右に操作して識別セグメントを個別に選択します(13ページ)。

9. 探査モード

次に利用できる探査モードが選択されます(3ページ)。

長押しすると、現在の探査モードの識別パターンをカスタム探査モードに保存できます(13ページ)。

10. Bluetoothのオン/オフ(540のみ)

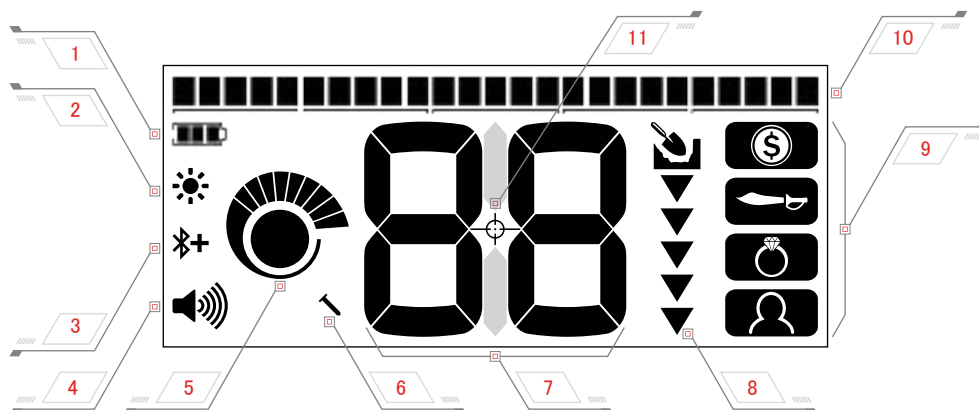
ワイヤレスヘッドホンを接続するためにBluetoothを有効にします(11ページ)。

新しいヘッドホンを接続する際には、長押ししてBluetoothのペアリングを行えます(11ページ)。

11. ターゲットIDガイド

探知できるターゲットのタイプを示す参考ガイドであり、ターゲットIDのセグメントに対応しています。

ディスプレイ



1. バッテリー残量


現在のバッテリー残量を示します(15ページ)。

2. バックライトアイコン(540のみ)

バックライトがオンの状態であることを示します(6ページ)。

3. Bluetoothアイコン(540のみ)

Bluetooth無線オーディオがオンの状態であることを示します(11ページ)。

 標準的なBluetooth

 最高の無線オーディオパフォーマンスを実現する
Bluetooth Qualcomm® aptX™ Low Latency

4. 音量

探知機の音量を表示します(6ページ)。

5. 感度

感度を表示します(7ページ)。

6. 鉄バイアスアイコン(540のみ)

鉄バイアスが‘低’に設定されていることを示します(7ページ)。

7. ターゲットID番号

物体を特定してから掘り出せるようにするため、探知したターゲットを数値で示します。たとえば、米国の25セント硬貨には常に同じターゲットID番号が表示されます。

負の数は鉄、正の数は純金(小さな数のID)から大きな銀(大きな数のID)に至るまでの鉄以外の物質を示します。

8. 深度ゲージ

検出されたターゲットのおおよその深さを示します(10ページ)。

9. 探査モード

有効な探査モードを表示します(3ページ)。

10. 識別セグメント

ターゲットID番号のグループを1つのセグメントとして目盛りで表します。各セグメントをオン/オフにして識別パターンを作成できます(12ページ)。

識別セグメントはターゲットIDガイドに対応しています。

11. ピンポイント探知インジケータ

ピンポイント探知が有効であることを示します(8ページ)

探知機の設定

音量

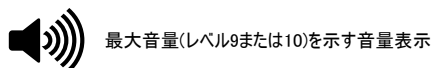
音量調節により、ターゲット信号音の大きさを変更します。

音量を調節するには、音量の-/+ボタンを使用します。押すたびに音量が1レベル下がり/上がります。



音量が最大または最小レベルに達すると、低いトーン音が鳴ります。

ディスプレイの音量表示に現在のおおよその音量が表示されます。目盛り1つで2レベルを表しています。



バックライト

VANQUISH 540 は、暗い場所での探知活動に備えて赤色のバックライトを備えています。バッテリー消費低減のため、起動時にバックライトはデフォルトでオフになっています。

バックライトをオン/オフにするには、バックライトボタンを押します。バックライトが点灯すると、ディスプレイにバックライトアイコンが表示されます。



探知機の設定

感度

VANQUISHシリーズ探知機は極めて高感度であり、感度を調整することができます。個々の探知条件に合わせて適切な感度を設定すると、探知深度が最大化します。

最適なパフォーマンスを得るには、常に安定した最も高い感度設定を選択してください。

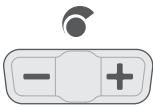
ディスプレイの感度メーターに現在の感度が表示されます。目盛り1つで1レベルを表しています。



最高感度(レベル10)を示す感度メーター(540での表示例)

感度の調整

1. コイルを動かさないように保持し、感度の+ボタンを使用して誤信号が発生し始めるまで感度を上げます。



感度調整ボタン

2. 感度ボタンを押して、誤信号が消えるように十分に感度を下げます。
3. 何も無い地面の上でコイルをスワイプし、地面からのノイズ(土壌ノイズ)が少しでも発生する場合はさらに感度を下げます。

ノイズが出過ぎる場合

探知中にノイズが過剰に発生する場合があります。これは、送電線、携帯電話の中継塔、または他の金属探知機などを発生源とする環境中の電磁干渉(EMI)が原因になっている可能性があります。

ノイズが問題となる場合は、消失するまで次の手順をお試しください。

1. 電磁干渉(EMI)の発生源から離します。
2. 探知機を再起動し、自動ノイズキャンセルプロセスが完了するまで待ちます。
3. 再起動しても過剰なノイズが消えない場合は、感度を下げてください。

自動ノイズキャンセル

VANQUISHシリーズ探知機では、電源を入れるたびに自動ノイズキャンセルプロセスが実行されます。これにより、過剰なノイズが出ないように探知機を修正しています。

自動ノイズキャンセルが完了するまで(ターゲットID番号の欄に表示される2本の大きなダッシュが合図です)、地面のすぐ上でコイルを動かさずに保持するとまっくいきます。

鉄バイアス

鉄バイアス機能は、探知機が錆びた釘や瓶の口冠など、大型または複雑な鉄製ターゲットを鉄として判別できるようにデフォルトで高に設定されているため、そうしたターゲットを用意に排除することができます。

VANQUISH 540では、鉄バイアスレベルを低に設定することができます。これにより、探知機の性能が高まり、多くの鉄ゴミの中から硬貨を特定することができます。

鉄バイアスを低に設定する方法(540のみ)

VANQUISH 540の鉄バイアス機能は、探知機の電源を入れるたびにデフォルト設定に戻ります。

1. 全金属ボタンを約2秒長押しします。



全金属ボタン(鉄バイアスの場合は長押し)

2. 鉄バイアスが低に設定されたことを示す鉄バイアスアイコンが、ディスプレイのターゲットID番号の左側に表示されます。



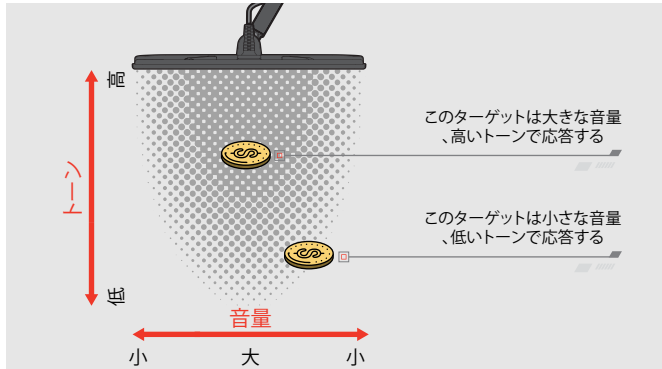
鉄バイアスアイコン

3. 鉄バイアス設定を高に戻すには、全金属ボタンを約2秒長押しします。鉄バイアスが高に設定されると、鉄バイアスはオフになり、アイコンは表示されなくなります。

ピンポイント探知

ピンポイント探知は、埋まっているターゲットの位置をすばやく絞り込み、掘り出す前に正確な位置を特定するのに役立ちます。

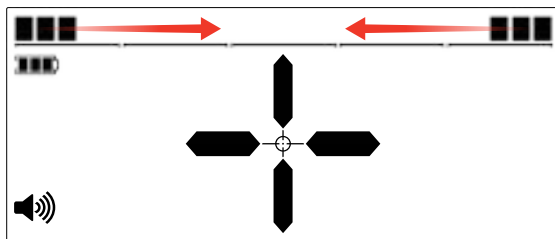
トーンと音量の違いが、ターゲットの位置と深度の特定に役立ちます。



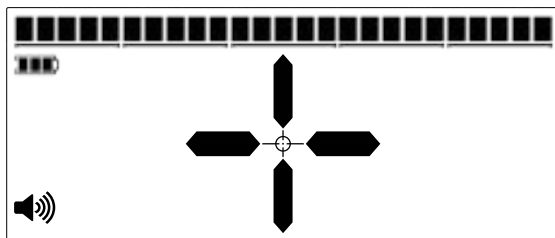
ピンポイント探知のビジュアル表示

ピンポイント探知を有効にすると、識別セグメントにターゲット信号強度が表示されます。このビジュアル表示により、埋まっているターゲットの位置を正確に特定することができます。

コイルの中心線がターゲットに接近すると、液晶画面の外側から中央に向かって識別セグメントの欄が埋まっていきます。識別セグメントがすべてオンの場合、ターゲットはコイルの中心線の直下にあります。



弱い/中央から遠いターゲット信号: オンの識別セグメントは比較的少ない状態です。ターゲットはコイルの外側付近にあります。



最も強いターゲット信号: すべての識別セグメントがオンになっています。ターゲットはコイルの中心線の直下にあります。

ピンポイント探知によるターゲットの探査

1. ターゲットのおおよその位置からコイルを遠ざけたまま、ピンポイント探知ボタンを長押ししてピンポイント探知を有効にします。ディスプレイにピンポイント探知インジケータの十字線が表示されます。



ピンポイント探知ボタン



ピンポイント探知インジケータの十字線

2. ターゲットがある位置の上でコイルを地面と平行に保ったままゆっくりと2~3回スイープします。これにより、ピンポイント探知機能が修正され、ピンポイント探知での音声応答の精度が向上します。
3. 信号音が最大になる場所を探したり、ディスプレイのピンポイント探知のビジュアル表示を確認したりして、ターゲットの中心位置を特定します。尚、ピンポイント探知機能は、非常に接近したターゲット応答のみが残るまで各スイープごとに感度を段階的に落としていきターゲット応答をマスキングします。これはターゲットの正確な位置を特定するために役に立ちます。
4. 識別スケールのすべてのセグメントがオンになれば、ターゲットはコイルの中心の真下にあります。

ピンポイント探知

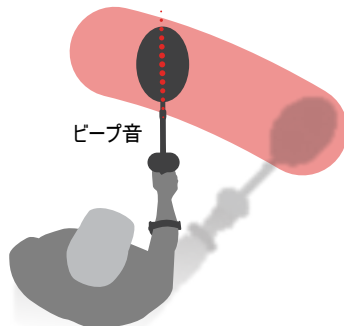
ターゲットの手動探査

ピンポイント機能を使用せずにターゲットの位置を特定することは可能ですが、これには練習が必要です。この方法は、目的のターゲットがゴミに囲まれている際に必要となる場合があります。

1. ターゲットがある位置の周辺でコイルを地面と平行に保ったままゆっくりとスイープします。
2. 最も信号応答の音が大きくなるのを聞いて、ターゲットの中心位置を特定します。
3. この位置をよく覚えておき、土の上に靴や掘り道具で線を引いて印をつけます。
4. 最初の方向に対して右側の角度からターゲットの上をコイルでなぞることができるように片方の側に立ち位置を移動します。
5. 新しい立ち位置で手順1および3を繰り返します。ターゲットは2本の想像上の線が交わるところに埋まっています。

1-3

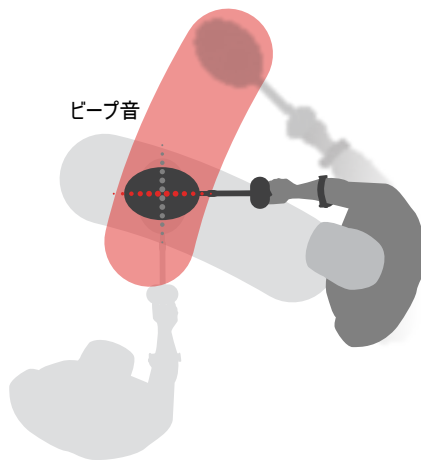
最も強い信号が聞こえる所に線を引きます。



4-5

最初の立ち位置に対して直角に立ち、手順を繰り返します。

2本の線が交差した点が、ターゲットの正確な位置を示します。



深度ゲージ

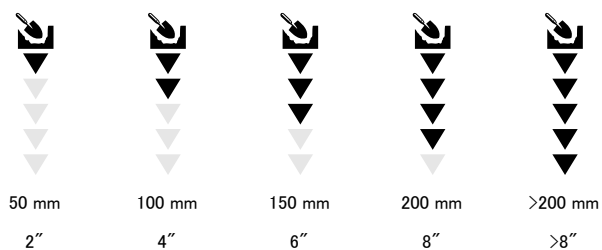
深度ゲージは、検出されたターゲットのおおよその深さを示します。

深度ゲージは目安としてのみ使用します。矢印が少ないほどターゲットが浅いことを示し、矢印が多いほどターゲットが深いことを示します。精度は、ターゲットのタイプと土壌条件によって異なります。

ターゲットが検出された後に、深度ゲージは最大5秒間、または次のターゲットが検出されるまで液晶画面に表示されます。

何も検出されない場合は、深度ゲージアイコンと矢印はオフになります。

以下は、米国25セント硬貨の場合の、深度ゲージの測定結果とおおよそのターゲット深度の例です。



無線オーディオ(540のみ)

VANQUISH 540には標準的なBluetooth®ヘッドホンやイヤホンをご使用いただけますが、最高の無線オーディオパフォーマンスを得るため、aptX™ Low Latencyヘッドホン(Minelab ML 80ワイヤレスヘッドホンなど)の使用をお勧めします。

Bluetoothのオン/オフ

Bluetoothボタンを押してBluetoothをオンまたはオフにします。

ペアリングを開始する場合は、Bluetoothボタンを長押しします(2.5秒)。



Bluetoothボタン

5分以内に接続されない場合、Bluetoothは自動的にオフになります。

Bluetoothがオンになると、ディスプレイにBluetoothのアイコンが表示されます。このアイコンは、表示状態によって現在のBluetoothの接続状況を示します。



速く点滅: 探知機はBluetoothデバイスとのペアリングを試行中です。



継続的に点灯: 探知機はBluetooth/Bluetooth aptX LLヘッドホンに接続されています。



ゆっくり点滅: 探知機は(過去にペアリングした)既存のBluetooth/Bluetooth aptX LLヘッドホンとの再接続を試行中です。

ML 80ワイヤレスヘッドホン

VANQUISH 540 Pro Packには、Qualcomm® aptX™ Low Latencyオーディオ対応のMinelab ML 80 Bluetooth®ヘッドホンが付属しています。このヘッドホンは、アクセサリとしても提供されています。



Minelab ML 80ワイヤレスヘッドホン(および充電ケーブルとオプションのオーディオケーブル)

ペアリングおよびその他の制御方法の詳細については、ヘッドホンに付属の取扱説明書を参照してください。

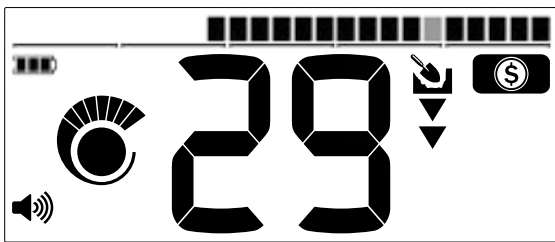
ターゲットID

ターゲットID番号

ターゲットID番号の範囲は-9～40であり、鉄製ターゲットの場合は-9～0になります。

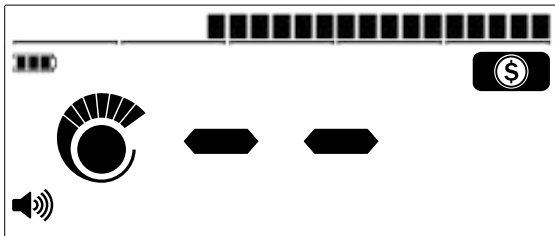
ターゲットが探知されると番号で示され、ディスプレイのターゲットID番号の欄に表示されます。これにより鉄または非鉄特性が示されるため、すばやく簡単にターゲットを識別できます。

たとえば、米国25セント硬貨のターゲットIDは29です。このため、IDが29のターゲットが探知された際には、常に米国25セント硬貨である可能性が高いということになります。



ターゲットが探知されると、ターゲットID番号が表示されます。この例は薄い米国25セント硬貨を検出した場合の表示です。検出時には対応するターゲットIDセグメント(グレーで示す部分)が点滅します。

最後に検出されたターゲットIDが、5秒間または別のターゲットが検出されるまでディスプレイに表示されます。何も検出されない場合や、排除しているターゲットを探知器が見送った場合は、ディスプレイに2本の大きなダッシュが表示されます。



何も検出されない場合、ターゲットID番号の欄に2本の大きなダッシュが表示されます。

識別セグメント

識別セグメントは、液晶画面の上部にあります。これらはターゲットIDを帯状の領域に区分けして表示します。

ターゲットID番号ごとに対応する識別セグメントがあり、そのIDを持つターゲットが検出されると該当するセグメントが点滅します。

識別パターンを作成するには、各識別セグメントをオン(承認)またはオフ(排除)にします(13ページ)。

承認/排除

検出されたターゲットの排除

1. 承認されたターゲットIDが検出されると、ターゲットから応答があり、ターゲットID番号が表示されます。
2. 番号がまだ表示されている間に、承認/排除ボタンを押して検出されたターゲットを排除します。ターゲットID範囲が対応する識別セグメントで示されているターゲットは応答なくなります。



承認/排除ボタン

3. 識別パターンは、探知機の電源を入れるたびにデフォルトのパターンに戻ります(カスタム探査モードを除く)。変更した内容を失わないようにするには、保存機能を使用してカスタムモードに設定を保存します。詳細については、「カスタム探査モードの保存」(13ページ)を参照してください。

ターゲットID

識別パターン

識別セグメントは、ターゲットを検出するとオンに、無視するとオフになります。オンのセグメントはすべて音が鳴り(承認)、オフのセグメントはすべて音が鳴りません(排除)。

承認および排除されるセグメントの組み合わせは、識別パターンと呼ばれます。



承認されるセグメントと排除されるセグメントを示した識別パターンの例

識別パターンの編集

自分独自の識別パターンを作成して特定のターゲットタイプを検出または無視することができるため、より多くの貴重品を掘り当てることができ、ゴミに無駄な労力を費やす必要がありません。

それぞれの探査モードにあらかじめ設定された識別パターンを編集することができます。コイン、レリック、およびジュエリーモードに対する変更内容は、探知機の電源を入れるたびに事前設定済みの識別パターンに戻りますのでご注意ください。

変更した内容を失わないようにするには、保存機能を使用してカスタムモードに設定を保存します。

1. どの探査モードでも、承認/排除ボタンはターゲットを探知していないとき(ターゲットID番号が画面上に表示されていないとき)に押してください。



承認/排除ボタン

2. ターゲットID番号の欄に、識別パターンが編集中であることを示す 'Ed' が表示されます。



ターゲットID番号の欄に表示される 'Ed'

3. 識別パターン編集矢印ボタンを使用して、調整したいセグメントを選択します。選択中のセグメントが点滅します。



識別パターン編集ボタン(左右の矢印)

4. 承認/排除ボタンを押して選択したセグメントをオンまたはオフに切り替えます。
5. 識別パターンを作成し終わるまで手順3および4を繰り返します。
6. 編集画面は、何もしないと3秒後にタイムアウトします。

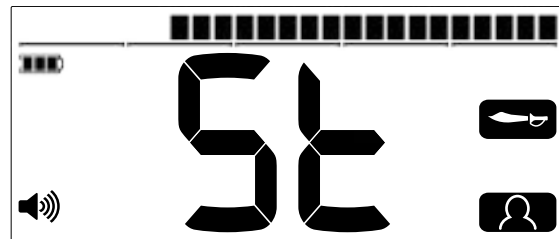
カスタム探査モードの保存

どの探査モード(コイン、レリック、またはジュエリー)でも、カスタム探査モードの枠に保存することができます。現在の探知機設定と識別パターンは、すばやくアクセスできるように保存されます。

カスタム探査モードを保存する際には、探査モードの独自のターゲット判別および探知深度特性も保存されます(それぞれの探査モードの特性については、3ページの「探査モード」を参照してください)。

1. 保存したい探査モードを選択して編集します。

探査モードボタンを長押しします(5秒)。ターゲットID番号のディスプレイに 'St' と表示され、確認音が鳴ります。



ターゲットID番号のディスプレイに 'St' と表示されます。カスタム探査モードのアイコンと元のモードのアイコンが2回点滅します。

2. ターゲットID番号のディスプレイに 'St' と表示されます。カスタム探査モードのアイコンと元のモードのアイコンが2回点滅します。

ターゲットID

全金属

全金属探査モードでは、すべての識別セグメントがオンであるため、鉄を含めたすべての金属製ターゲットが検出されます。



VANQUISH 540の全金属モードの識別パターン

全金属モードを有効にするのは、ターゲットを一切見逃さないようにする探知方法ですが、ゴミの検出も多くなります。

尚、全金属モードを有効にすると、承認/排除ボタンや識別パターン編集ボタンは使用できません。

全金属モードの有効化

1. 全金属ボタンを押して全金属モードを有効にします。



全金属ボタン

2. 識別セグメントがすべてオンになり、金属物がすべて検出対象になります。
3. 全金属モードを無効にするには、再び全金属ボタンを押します。識別パターンは最後に使用した状態に戻ります。

全金属モードを使用したターゲットの検査

全金属モードを使用すると、鉄以外の検出物を検査することで、鉄系材料の有無も確認できます。

全金属モードを有効にした際にターゲットが入り混じった反応(鉄と鉄以外の両方)を示した場合は、大きな鉄の物体か瓶の口冠である可能性が高くなります。

鉄以外の反応を繰り返し示す場合、ターゲットに鉄は含まれていません。これは、ターゲットが良い(鉄以外の)物質である可能性が高いことを示しています。

独自の識別パターンの作成

対象となる複数のターゲット(現地通貨の硬貨など)を入手し、それぞれをさまざまな高さで探知機のコイル上で振ります。各ターゲットのターゲットIDが表示されます。尚、このプロセスでターゲットが識別されないことを確認するため、全金属モードの有効化が必要になる場合があります。

鉄製のターゲットはほとんどの場合ゴミであるため、識別パターン(探査モードの事前設定済みのパターンを含む)は通常これらを無視します。特に、一部の国々では鉄製の硬貨が使用されているため、誤ってマスク

されないように見つけたい硬貨のターゲットIDを確認しておくのが得策です。

ターゲットID番号のリストを用意し、それを使用してそれらのターゲットIDを特に承認(探知)する識別パターンを作成しておけば、探査活動の生産性を高めることができます。

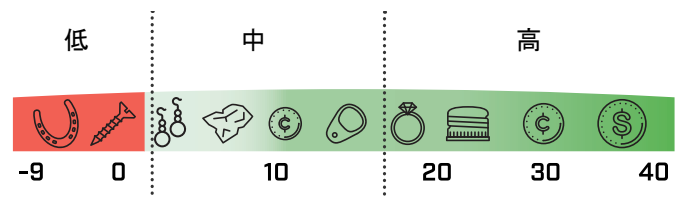
ターゲットトーン

ここでは、複数のターゲットIDを異なるピッチのターゲットトーンに割り当てているため、オペレータがディスプレイを確認することなくターゲットIDを大まかに判別することができます。

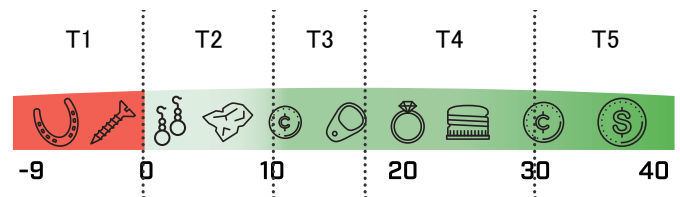
VANQUISH 440には、低、中、高の3つのターゲットトーンが用意されています。

VANQUISH 540には、T1~T5の5つのターゲットトーンが用意されています。

トーンブレイク位置とは、識別スケール上でターゲットトーンのピッチが変化する箇所のことです。正確なトーンブレイク位置は探査モードごとに若干異なることに留意してください。



VANQUISH 440の(おおよその)トーンブレイク位置



VANQUISH 540の(おおよその)トーンブレイク位置

バッテリーおよび充電

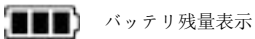
VANQUISHシリーズは、充電式および非充電式両方の単3バッテリーに対応しています。

⚠ 警告: 充電式および非充電式のバッテリーを組み合わせると、探知機やバッテリーが損傷する場合がありますので絶対におやめください。

⚠ 警告: 充電式および非充電式のバッテリーを組み合わせると、探知機やバッテリーが損傷する場合がありますので絶対におやめください。

バッテリー残量

バッテリー残量表示は、現在のバッテリー残量を示します。



充電式バッテリーと非充電式バッテリーでは放電率が異なるため、バッテリー残量表示はおおよその目安にすぎないことに留意してください。

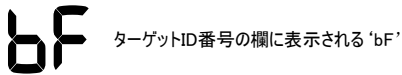
バッテリー電圧の不足時

非充電式バッテリーを使用した場合、バッテリー残量表示が点滅してから約20分間経過すると、自動シャットダウンが実行されます。

充電式バッテリーを使用した場合、バッテリー残量表示に表示される目盛りが1つになってから約20分間経過すると、自動シャットダウンが実行されます。

自動シャットダウン

バッテリー残量が著しく低下すると、探知機は自動的にシャットダウンを行います。自動シャットダウンの際は、その5秒前にターゲットID番号の欄に‘bF’と表示され、シャットダウンの信号音が鳴ります。



一部のメーカー/タイプの充電式バッテリーでは、探知機が自動シャットダウンの前でも‘bF’と表示しない場合がありますのでご注意ください。

バッテリー動作/充電時間

Minelab充電式単3ニッケル水素バッテリーでは、充電時間が約8時間、動作時間は約11時間です。

非充電式単3アルカリバッテリーでは、動作時間が約10時間になります。

充電式バッテリー

Minelab単3アルカリ乾電池水素バッテリー(4パック)およびMinelab単3ニッケル水素バッテリー充電器は別売りで販売されています。



Minelab 単3ニッケル水素バッテリー充電器 Minelab 充電式単3ニッケル水素バッテリー

Minelab 単3ニッケル水素バッテリー充電器の使用法、コンプライアンス、安全に関する情報については、充電器の付属文書を参照してください。

⚠ 警告: 充電式ニッケル水素バッテリーの充電には、Minelabニッケル水素バッテリー充電器のみをご使用ください。

探知のお手入れと安全性

- 日焼け止めや虫除けを塗った後は、探知機を扱う前に手を洗ってください。
- クリーニングには溶剤を使用しないでください。中性洗剤を含ませた布で汚れを拭き取ってください。
- 探知機にはガソリンや石油または石油ベースの液体が絶対にかからないように注意してください。
- 砂や埃がシャフトや固定具(コイルヨークアセンブリやカムロックなど)に入らないようにしてください。これらの部分に砂や埃が蓄積した場合は、湿った布できれいに拭き取ってください。
- 探知機やアクセサリを尖った物に接触させないでください。傷や損傷の原因となります。
- シャフトに擦り傷が目立つようになったら、湿った布で拭いてください。
- 探知機を必要以上に長時間にわたって過度に低温または高温になる場所に放置しないでください。使用しない時は保護のためにカバーをしてください。高温になる車内に放置することは避けてください。
- コイルケーブルを常に良好な状態に保ち、過度の力をかけないように注意してください。
- 探知機を運搬したり保管する際には十分に注意してください。探知機は高品質の材料を使用して製造され、厳格な耐久性テストを受けていますが、表示画面は適切な注意をして取り扱わないと傷がつきやすく、重大な損傷が発生します。
- 探知機を極端な温度条件に置かないようにしてください。保管温度範囲は、 $-20^{\circ}\text{C} \sim +70^{\circ}\text{C}$ ($-4^{\circ}\text{F} \sim +122^{\circ}\text{F}$)です。
- 防水の記載のないアクセサリを液体/水分または過度の湿気にさらさないでください。
- 探知機やアクセサリは子供の手が届かない場所に保管してください。小さな部品を喉に詰まらせる危険があります。
- 充電式バッテリーおよびアクセサリを充電する際は、必ず付属の取扱説明書に従ってください。
- 極端な温度条件下で充電式バッテリーやアクセサリを充電することは避けてください。
- 空輸の際は、あらかじめバッテリーを取り外してください。

エラーコード

探知機に以下の故障がある場合は、ターゲットID番号の欄にエラーコードが表示されます。正規サービスセンターにご連絡いただく前に、推奨される以下の改善策をお試しください。

コイル接続不良



コイル接続不良のエラーが発生した場合は、ターゲットID番号の欄に「Cd」と表示されます。

コイル接続不良のエラーが発生した場合は、以下の手順に従ってください。

1. コイルコネクタがコントロールユニット背面に適切に接続されているかを確認します。
2. コイルケーブルの損傷がないかを確認します。
3. コイルコネクタピンに汚れや破片が付いていないことを確認します。
4. コイルに目に見える損傷の兆候がないかを確認します。
5. 別のコイルが使用できれば、それを試してみます。
6. 探知機の電源をオフにして工場リセットを実行してから、電源ボタンを
7. 秒長押しします。(20ページの「工場出荷時設定へのリセット」を参照)。

システムエラー

システムエラーのコード「E」にエラーコード番号が付加され、「E2」などと表示されます。探知機は、システムエラーが表示された5秒後にシャットダウンします。



ターゲットID番号の欄に表示されたエラーコード「E2」の例

システムエラーが発生した場合は、以下の手順に従ってください。

1. エラーがまだ残っているかどうかを確認するために探知機を再起動します。
2. コイルが正しく取り付けられていることを確認します。
3. 探知機の電源をオフにして工場リセットを実行してから、電源ボタンを7秒長押しします(20ページの「工場出荷時設定へのリセット」を参照)。
4. それでもエラーが持続する場合は、最寄りの正規サービスセンターに探知機の修理をご依頼ください。

トラブルシューティング

探知機の電源が入らない、または勝手に切れる(「bF」は表示されることもされないこともある)

1. バッテリーを交換します。

異常なノイズが出る、またはノイズが出過ぎる

1. 電磁干渉(EMI)の発生源から離します。
2. 探知機を再起動し、自動ノイズキャンセルが完了するまで待ちます。
3. 感度を下げます(7ページ)。

音がしない - 有線ヘッドホン

1. 探知機の電源が入っているか、起動が完了しているかを確認します。
2. ヘッドホンの端子が接続されているかを確認します。
3. 音量が聴こえるレベルに設定されていることを確認します。
4. ヘッドホンの接続を外し、探知機のスピーカーから音が聴こえることを確認します。
5. 可能であれば、別のヘッドホンセットを使用して試してください。

何も聴こえない - ML 80ヘッドホン

1. ヘッドホンの電源がオンになっているかを確認します。
2. 探知機のBluetoothがオンになっており、Bluetoothのヘッドホンとペアリング済みである(つまり、Bluetoothのアイコンが安定してオンの状態である)ことを確認します。
3. ヘッドホンが充電されているかを確認します。
4. 探知機の音量が聴こえるレベルに設定されていることを確認します。
5. ヘッドホンの音量調整が聴こえるレベルに設定されていることを確認します。
6. 別のBluetoothヘッドホンを試してみます。
7. 有線ヘッドホンを試してみます。

ML 80ヘッドホンのペアリングができない


1. ML 80ヘッドホンの電源をオフしてから再ペアリングを試みます。
2. ヘッドホンが探知機のコントロールユニットから1 m (3フィート)以内にあり、ヘッドホンと探知機の間(自分の身体も含む)障害物がないことを確認します。
3. 携帯電話などの干渉源から離します。
4. 他の多くのBluetoothデバイスが近くにある場合は、ペアリングに時間が長くなる場合があります。その領域から離して、もう一度ペアリングを試みます。
5. ヘッドホンで工場リセットを実行し、探知機との再ペアリングを試みます。
6. 別のBluetoothヘッドホンと探知機をペアリングしてから、ML 80ヘッドホンを探知機との再ペアリングを試みます。

Bluetooth経由で接続した場合に、歪み/パチパチ音がML 80ヘッドホンから聴こえる

1. 歪みがなくなるまで、ヘッドホンの音量を落とします。落とす音量を補う必要がある場合は、探知機の音量を上げます。

技術仕様

| | VANQUISH340 | VANQUISH440 | VANQUISH540 |
|------------------|--------------------------------------|---|---|
| 探査モード | コイン、ジュエリー、全金属 | コイン、レリック、ジュエリー、カスタム | |
| 全金属のショートカット | なし | あり | |
| カスタムユーザー探査プロファイル | なし | あり | |
| 動作周波数(kHz) | Multi-IQ | | |
| ノイズキャンセル | 自動(19チャンネル) | | |
| オーディオ | なし | あり | |
| 鉄バイアス | 高 | 高(デフォルト)、低 | |
| 感度 | 4 レベル | 10 レベル | |
| 音量 | 3 レベル | 10 レベル | |
| ターゲットトーン | 3種類のトーン(低、中、高) | | 5種類のトーン |
| 識別セグメント | 5 セグメント | 12 セグメント | 25 セグメント |
| 識別刻み | なし | あり | |
| ピンポイント探知モード | なし | あり | |
| ターゲットID | -9~40 | | |
| 深度表示 | 4 レベル | 5 レベル | |
| 長さ | 伸長時: 1450 mm (57") 短縮時: 760 mm (30") | | |
| 重量(バッテリー込み) | 1.2 kg (2.6 lbs) | 1.3 kg (2.8 lbs) | |
| ディスプレイ | モノクロ液晶画面 | 赤色バックライト付きモノクロ液晶画面 | |
| 搭載コイル | V10 10" x 7"ダブルD | V12 12" x 9"ダブルD | |
| オーディオ出力 | 内蔵スピーカー 3.5 mm (1/8")有線ヘッドホン | 内蔵スピーカー 3.5 mm (1/8")有線ヘッドホン Bluetooth無線オーディオ | |
| 搭載ヘッドホン | - | 3.5 mm (1/8")有線ヘッドホン | |
| 搭載バッテリー | 4 x 単3アルカリ乾電池 | | 4 x 単3ニッケル水素充電式 |
| その他の付属アクセサリ | スタートガイド | スタートガイド レインカバー アームレストストラップ V10スキッドプレート | スタートガイド レインカバー アームレストストラップ V12スキッドプレート |
| 防水 | コイルから最大1 m/3フィート | | |
| 耐水 | 制御ボックス(レインカバー装着) | | |
| 動作温度範囲 | -10° C~+40° C (+14° F~+104° F) | | |
| 保管温度範囲 | -20° C~+70° C (4° F~+158° F) | | |
| 主要テクノロジー | Multi-IQ | | Multi-IQ、Bluetooth、aptX™ Low Latency (低遅延) |



VANQUISH 540 Pro Packは標準のVANQUISH 540をベースとした製品であり、異なる点はBluetoothワイヤレスヘッドホンとV8 8" x 5"ダブルDコイルおよびV8スキッドプレートが採用されていることです。3.5 mm (1/8") 有線ヘッドホンは含まれていません。

本製品と合わせてお客様が注文したモデルまたは品目によっては、装置の構成が異なる場合があります。Minelabは、継続的な技術革新に対応するため、設計、装置および技術的特徴をいつでも予告なく変更する権利を留保します。VANQUISH探知機製品の最新の仕様については、www.minelab.comをご覧ください。

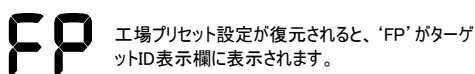
工場出荷時設定へのリセット

工場リセット機能を使用すると、探知機のあらゆる設定が工場プリセット状態に戻ります。

1. 探知機の電源がオフになっていることを確認します。
2. 電源ボタンを長押しします(約7秒)。



3. 工場プリセット設定が復元されたことを示す 'FP' がターゲットID表示欄に表示されます。



4. 電源ボタンを放します。工場リセットが完了すると、自動ノイズキャンセルが開始されます。

免責

1. この取扱説明書で説明するMinelabの金属探知機は、高品質な金属探知機として設計・製造されており、危険のない環境で宝探しや金探しに使用することが推奨されています。本金属探知機は、鉱山用の探知器や無効化されていない弾薬の探知ツールとしては設計されていません。
2. Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、Minelabによるこれらのマークの使用はライセンスに基づいています。
3. Qualcomm aptXは、Qualcomm Technologies, Inc. および/またはその子会社の製品です。Qualcommは、米国およびその他の国々におけるQualcomm Incorporatedの登録商標です。aptXは、米国およびその他の国々におけるQualcomm Technologies International, Ltd.の登録商標です。



Minelab Electronics,
PO Box 35, Salisbury South,
South Australia 5106



Qualcomm® aptX™ Low Latency

カナダを対象とした適合性宣言

本製品はISED (Innovation, Science and Economic Development Canada)の技術仕様に適合しています。

INFORMATION RÉGLEMENTAIRE

Avis de conformité canadien Le présent produit est conforme aux spécifications techniques retenues par l'Innovation, Sciences et Développement économique Canada (ISDE).

Minelab Electronics Pty. Ltd.
オーストラリアおよびアジア太平洋地域
☎ +61 8 8238 0888
✉ minelab@minelab.com.au

Minelab Americas Inc.
北米、南米、および中米
☎ +1 877 767 6522
✉ info@minelabamericas.com

Minelab International Ltd.
欧州およびロシア
☎ +353 21 423 2352
✉ minelab@minelab.ie

Minelab MEA General Trading LLC
中東およびアフリカ
☎ +971 4 254 9995
✉ minelab@minelab.ae

Minelab do Brasil
ブラジル
☎ +55 47 3406 3898
✉ minelabdobrasil@minelab.com

minelab.com/vanquish